

パリッと新鮮なおいしいピーマンをつくりましょう!

つくった人だけがわかる喜びがある!



ここがポイント!

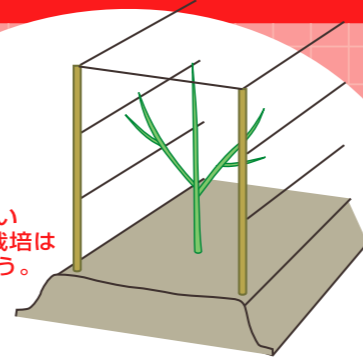
- ◎根が浅く、乾燥や水のあげすぎに弱いので土壌管理に注意
- ◎連作障害を起こしやすいので3~4年ナス科の野菜を育てていない場所を選ぶ。

1. 苗選び。

本葉7~8枚以上の大苗で、下葉の黄色くなっていないもの。根の張りがよく、根鉢のくすれていないものを選びましょう。



枝が折れやすいので、長期の栽培は誘引しましょう。



株元から50~60cmの高さで剪定してあげると8月以降に品質の良いものが、再収穫できます。

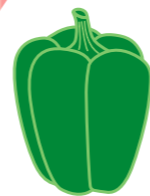
4. 整枝・誘引。

1番果から下の葉の着生部から出るわき芽はとりましょう。



5. 収穫。

- ・開花後20~25日で収穫できます。
- ・1果30g位が収穫の適期です。大きすぎると草勢が弱ります。



・シシトウは果梗をつけ収穫します。



2. 土づくり。

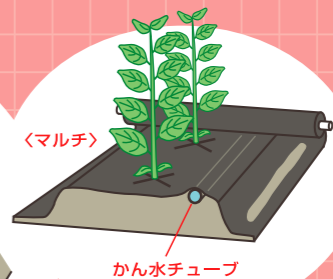
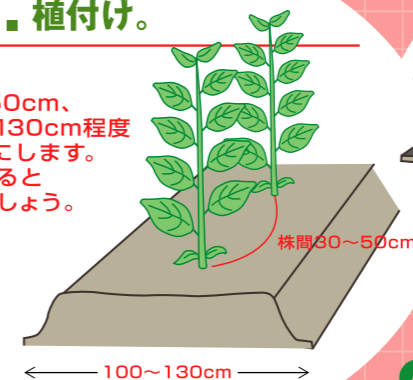
元肥は1株あたり約80g



植付けの7~10日前に苦土石灰100g/m²、たい肥2kg/m²、「ピーマンの肥料」を土によく混ぜておきます。

3. 植付け。

株間30~50cm、畝幅100~130cm程度の1条植えにします。マルチにするとなお良いでしょう。



朝日工業株式会社
http://www.asahi-kg.co.jp



1.5kgで通常の堆肥の15kg分の効果がある「固形濃縮堆肥」がおすすめ。